

感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

利用者が留意すること

- 飲酒をするのであれば、
 - ① 少人数・短時間で、
 - ② なるべく普段一緒にいる人と、
 - ③ 深酒・はしご酒などはひかえ、適度な酒量で
- 箸やコップは使い回さず、一人ひとりで
- 座の配置は斜め向かいに（正面や真横はなるべく避ける）
※食事の際に、正面や真横に座った場合には感染したが、斜め向かいに座った場合には感染しなかった報告事例あり。
- 会話する時はなるべくマスク着用
※フェイスシールド・マウスシールドはマスクに比べ効果が弱いことに留意が必要。
- 換気が適切になされているなどの工夫をしている「ガイドライン」を遵守したお店で
- 体調が悪い人は参加しない



お店が留意すること

- お店は「ガイドライン」の遵守を
※例えば、従業員の体調管理やマスク着用、席ごとのアクリル板の効果的な設置、換気と組み合わせた適切な扇風機の利用などの工夫など。
- 利用者に上記の留意事項の遵守や、接触確認アプリ（COCOA）のダウンロードを働きかける

新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)

iPhoneの方はこちら



Androidの方はこちら



【飲酒の場面も含め、全ての場面でこれからも引き続き守ってほしいこと】

- 基本はマスク着用や三密回避。室内では換気を良くして
- 集まりは、少人数・短時間にして
- 大声を出さず会話はできるだけ静かに
- 共用施設の清掃・消毒、手洗い・アルコール消毒の徹底を